

目 次

I. 総括研究報告

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、 臨床データベースに基づく臨床研究の推進、 及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究における総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
札幌医科大学 平田公一	

II. 分担研究報告

1. 臨床データベースの応用研究に関する適切な学会体制とは 一乳癌学会の現状と将来の在り方・・・・・・・・・・・・・・・・	24
杏林大学 井本 滋	
2. 膵癌臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・・・・・・・・・	26
東北大学 海野倫明	
3. 甲状腺がん臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・・・・・・・・・	28
東京女子医科大学 岡本高宏	
4. ①胃癌臨床データベースの現状と将来 ②消化器外科データベース関連学会協議会の運営体制の現状と将来展開・・・・・・・・	30
神戸大学 掛地吉弘	
5. 皮膚悪性腫瘍（悪性黒色腫、皮膚悪性リンパ腫）臨床データベースの現状と将来・・	32
京都府立医科大学 加藤則人	
6. 泌尿器科腫瘍に関する臨床データベースの在り方と NCD との共同体制について・・	35
宮崎大学 賀本敏行 前立腺癌臨床データベースの現状と将来 慶應義塾大学 大家基嗣	
7. 骨軟部腫瘍臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・・・・・・・・・	37
国立がん研究センター中央病院 川井 章	
8. 泌尿器科がんの臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・・・・・・・・・	40
聖マリアンナ医科大学 菊地栄次	
9. 小児腫瘍臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・・・・・・・・・	42
新潟大学 木下義晶	
10. がん臨床データベースに関する本邦の現状と将来体制の在り方	46
日本医科大学 弦間昭彦	
11. がん診療ガイドラインの推奨医療の質評価の現状と将来の在り方・・・・・・・・	48
福島県立医科大学 河野浩二	
12. 希少がん診療ガイドラインの現状と臨床データベースの将来・・・・・・・・	54
名古屋大学 小寺泰弘	
13. 大腸癌臨床データベースの現状と将来・・・・・・・・・・・・・・・・	57
帝京大学 小林宏寿	

14.	臨床データベースを活用する臨床研究の現状と将来 －乳癌学会からみた有効活用の研究対象は－	61
	福島県立医科大学 佐治重衡	
15.	本邦の臨床データベースの活用を考える －米国 SEER 体制とその活動状況からの視点から－	63
	山形大学 柴田亜希子	
16.	乳がん臨床データベースの登録頻度の悉皆性向上へ向けた現状と将来	65
	帝京大学 神野浩光	
17.	今日の欧州連合 (EU) の臨床データベース体制から何を学び取ることが出来るか	67
	札幌医科大学 竹政伊知朗	
18.	肺癌の国内臨床データベース体制の現状とその将来 －複合学会で構成する体制とその円滑な運営－	69
	獨協医科大学 千田雅之	
19.	食道がんの臨床データベースの現状と将来	71
	国立病院機構九州がんセンター 藤 也寸志	
20.	婦人科領域癌 (卵巣癌、子宮癌) 臨床データベースの現状と将来	73
	山形大学 永瀬 智	
21.	脳腫瘍の臨床データベースの現状と将来	76
	国立がん研究センター中央病院 成田善孝	
22.	消化器間質性腫瘍 (GIST) 臨床データベースの現状と将来	79
	独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 西田俊朗	
23.	がん臨床データベースと専門医制度 －消化器外科領域から見た悉皆性向上への効果と精度管理－	82
	弘前大学 袴田健一	
24.	肝癌臨床データベースの現状と将来 －通年登録研究と短期間前向き登録研究の実情・可能性－	84
	東京大学 長谷川 潔	
25.	がん登録の現状と臓器がん登録への期待	87
	国立がん研究センターがん対策情報センター 藤下真奈美	
26.	胆道癌 (胆嚢癌、胆管癌、 Vater 乳頭部癌) 臨床データベースの現状と将来	89
	藤田医科大学 堀口明彦	
27.	神経内分泌腫瘍臨床データベースの現状と将来	91
	京都大学 増井俊彦	
28.	特定課題臨床研究時の症例登録に関する基本必須事項とその体制に関する研究 -第三者機関 N C D との共同研究の視点から-	94
	大阪警察病院 水島恒和	
29.	肺癌臨床データベースの現状と将来 －通年登録研究と短期間前向き登録研究の実情・可能性－	96
	千葉大学 吉野一郎	

IV. その他	119
資料1: 「臓器がん登録の現況と課題に関するアンケート報告書 ー 学術団体制度、全 国がん登録制度、社会貢献を中心にー	(119)
資料2: 「研究成果物資料 Ⅰ. 臓器がん登録各論担当研究分担者の回答内容に於けるア ンケート結果 Ⅱ. 4種のワーキンググループの研究結果概要	(158)
資料3: 「登録データベースを利活用した臨床研究の国民向け公表の在り方」	(274)